



学校だより



令和3年2月26日
3月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

当たり前のことがとても幸せ

校長 川島 隆宏

新型コロナウイルスに始まり、収束が見えない中、令和2年度も残すところ19日(5年生以下は18日)となりました。短い3月ですが、子供たちには1年間の学習や生活のまとめをしっかりとさせていきたいと思っています。

学校でも各学級で4月からの成長の振り返りをしていきますが、御家庭においてもお子さんとともに今年1年間を振り返り、お子さんの成長を御確認いただければと思います。

さて、今年は新型コロナウイルスへの対応のために、子供たちにとっては例年とは異なった学校生活であったかと思います。これまで当たり前だと思っていたことができない1年でした。5月の終わりには運動会があり、夏になればプールで水泳の授業がある。秋になれば展覧会や音楽会、学芸会、バスに乗って社会科見学に行き、いろいろな説明を聞いたり本物を見たりする。5、6年生は2泊3日の移動教室に行き、自然や歴史に直接触れたり、友達と夜遅くまでおしゃべりをしたり…。他にも、体育館で全校児童が集まる朝会や集会での楽しいひと時、給食は友達と一緒に楽しい話をしながら食べる。昨年度までは、これらのことは当たり前に来ていたことです。

私たちは、日常を「何となく過ごしている」ことがあります。今回の新型コロナウイルスへの対応をとおして、「当たり前」にできる(やれる)ことの有難さをもう一度考えて直してみると、友達と一緒に何かを創り上げることや目標に向かってチャレンジできることは素晴らしいことであり、友達に意地悪をしたり、途中であきらめたりすることは、本当にもったいないことであることを教えてもらったように思います。

この1年の出来事が教えてくれた「当たり前」にできることの幸せをもう一度子供たちにも考えてもらい、日々の学校生活の一つ一つに真剣に取り組むことで、今まで見えなかったものを見つけてほしいと思います。

あと1か月後には、それぞれ進級、進学し、新しい生活が始まります。まだ暫くは当たり前のことができない時間が続くかもしれませんが、何事もプラス思考で考え、夢と希望をもって新たな学年を迎えてほしいと願っています。6年生は、4月から中学校生活がスタートします。これまで第一小学校で学んできたことをいつまでも忘れずに、中学校でも頑張してほしいと思っています。

むすびに、令和3年度の教育課程を編成するにあたり、昨年12月にいただきました保護者の皆様からの学校評価(2月の臨時号に記載)を大いに参考にさせていただきました。来年度も新型コロナウイルス対策を講じながら教育活動を展開していくことになると思いますが、知恵を出し、工夫しながら本校の教育活動を充実させていきたいと考えております。本年度同様、御理解、御協力いただきますよう、よろしく申し上げます。

<タブレットコンピュータの活用>

2月に配布されたタブレットPCの活用が様々な授業場面で始まりました。子供たちの使い方を習得する速さに驚くばかりです。家庭に帰ってから、学校での学習の続きや復習に取り組むと、学びが深まります。ぜひチャレンジしてください!



実験の様子を写真で記録し、考察や話し合いで活用しました。



プログラミングを使って、作った生き物で水族館を作りました。



昔の生活をホームページで調べてまとめました。

3月の生活目標 学校をきれいにしよう

1年間使ってきた教室や机・椅子等をきれいにする中で、気持ちの整理を行い、新たな学年への意欲を培っていききたいと思います。また、次に使う人への思いやりの心や、公共物を大切にすることが育つよう指導していきます。